

大学名：創価大学

ASPUnivNet の 4つの機能	評価項目	事例記述
学校のユネスコスクール加盟を支援します。	1. ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。	
	2. ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。	
	3. 地域の加盟済のユネスコスクールに向けてESD/SDGsをリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。	
大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します。	1. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援(資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど)を行うことができた。	本学主催のフォーラム(事例発表や講演会)を開催し、地域の加盟校を招いた。
	2. 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。	事例発表では地域のユネスコスクールの取り組みを発表してもらった。
	3. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。	ユネスコスクール加盟を目指す特別支援学校向けにゼミで教材開発(SDGs すごろく)を行った。
地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します。	1. 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	
	2. ユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができた。	大学が主催したSDGs シリアルイベントで、地域の方たちにユネスコスクールの取り組みを紹介した。
	3. ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。	関東ブロック大会を玉川、東海、成蹊の3大学と協働で開催している。

国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します。	1. 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた	
	2. 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。	
	3. ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。 (例：ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など)	
その他の活動	1. 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	大学が主催するSDGs啓発イベントへの参加を通じて、継続的にユネスコスクールの取り組みを発信している。
	2. 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。	学部および教職大学院においてユネスコスクールの取り組みを紹介する科目を開講している。
	3. 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。	
	4. 自由記述	